

さかど

ロイヤルの園だより

発行
(福)栄光会
さかどロイヤルの園
坂戸市大字森戸739-1

「父の日に思うこと」

二層鶉のくんだり
介護職員

二層亜麻・鶉では、六月に毎年「父の日喫茶」を開催するのが恒例になっています。今年は三名の男性ご入居者に感謝の気持ちを込めてプレゼントを贈呈し、女性のご入居者も含めモンブランのケーキを提供し召し上がっていただきました。感謝を伝えられる行事があることは、とてもいいことだと感じる反面、亡き父や母に想いを馳せる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私もその一人でした。

ある時、何気なくネットを見てみると「死んだ母の日展」というものがありました。現在は父の日展もあります。オンライン上でしか存在しませんが、亡き母や父宛に想いを綴ることが出来る展示会です。涙なくしては読めない展示会ですが、言葉にする、話す(離す)ことは大事だと聞きます。

もし、天国にいるお父さんやお母さんに何か伝えたいことがある方は、想いを綴ってみるのはいかがでしょうか。直接伝えることができる方は、ぜひお父さんやお母さんに会いに来ていただけたらと思います。



「トマトの苗」

一層瑠璃のくんだり
介護職員

六月から一層浅緑のリビングではトマトの苗を育てています。この苗は私が五月に自宅でポットに種をまき、芽が出たものを持ってきたものです。苗を見たご入居者が「私も昔はトマトを育てていたよ」「トマトがなったら食べるのが楽しみだね」などと言われました。

リビングの窓際は日中陽当たりもよく、気温も保たれているため、トマトを育てる環境としてはとてもよく、苗はすくすく育っています。水やりもご入居者が苗の成長を見ながら行ってくれています。出勤するとご入居者と苗を見るのが日課となり、「トマトがなったらみんなで食べましようね。」と会話を交えながらトマトの実がなるのを楽しみに過ごす毎日です。



「家族として、職員として思うこと」

二層浅緑のくんだり
介護職員

当施設での面会制限が緩やかにになり、ご入居者のお部屋での面会が始まりました。ご家族とご入居者の楽しいそんな笑い声が聞こえると、私達職員も嬉しい気持ちになります。室内での面会について、ご家族からのご意見が多く寄せられていましたが、私自身、身内を施設に預けているので、家族としての気持ち、そして職員としての気持ちの両方がわかりとても考えさせられました。居室内で、ゆっくり会話を楽しむ家族としての時間

が貴重なことも理解できます。また、感染症を持ち込み広がってしまった時は命にかかわることも理解しています。が、面会制限の時はとても不安で寂しかったことを思い出します。

まだまだ感染症が無くなった訳ではないので、日々の生活や介助させていただく際にも、感染症対策を確実に行っていこうと改めて思いました。

「三層浅緑・瑠璃 ビアガーデン」



「車に乗って」

三層鴉のくだり
介護職員

車の免許を取ってそろそろ一年と半年が経ちます。特に事故も起こさず、原付と違う感覚にも慣れて来た今、我が家では外食が増えたように思います。運転は私です。元々外食しなかった理由というのも、あまり外に出るのを好まない祖母が家にいた時は、ずっと一人でいて貰うのも忍びなかった事と、何よりお酒好きな母が折角外で食べてもお酒が飲めないのはつまらなくて嫌という理由があったからでした。

私が免許を取ろうと思った理由は、祖母の入院を受け、それより数か月前母が腕を怪我した時も時間、場所の都合上タクシーを呼べない状況になった事がありました。免許取得に消極的でしたが、このままではよくないと思い免許を取りました。そんな人の気持ちを知ってか知らずか、母は割と私を足に使います。今まではずっと母が私を送り迎えしてくれていたのですが、日々頑張ってくれている母がいい気持ちでお酒を飲んで楽しんでくれているなら、まあいいかと思っています。

何年先になるか分かりませんが、高速道路でも安心して走れるようになったら日帰りでも泊まりでもいいので、一から私が企画して一緒に旅行に行けたらと思っています。こんな事を母が聞いたら「熱でもあるのか」と言いそうですが、私も今まで世話になった分くらい親孝行をしたいので。

「梅シロップ作り」

事務所
管理栄養士

初めまして。昨年の秋に入職しました管理栄養士です。新しい環境でまだ不慣れなところも多く、「迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、今後ともよろしくお願いたします。

先日、梅シロップを手作りしました。ヘタをとり氷砂糖と共に瓶につめていく作業は難しいことではなかったのですが、日々少しずつ瓶の様子が変わるのを眺める時間はとても豊かに感じました。

最近「タイムパフォーマンス」といった言葉をよく耳にします。できるだけ手早く、簡単に。この考え方に救われることも多いです。そのような中、梅シロップ作りを通して「時間をかける」ことにより、自分自身も落ち着く時間となる、気持ちにも余白ができることを感じました。完成までの時間も楽しみながら、約一か月待ちたいと思います。

「トンボとヤゴ」

四層鴉のくだり
介護職員

最近読んだ本に、考えさせられる文章があったので、この場をお借りして皆様と共有できたらと思います。題材は「トンボとヤゴ」で、我々人間にも重なる点が多い話です。

「ヤゴは水中で生きるが、成長しトンボになると水中では息ができない。かつての居場所が今は命を脅かす場所になる。人間も環境や立場が変われば、それまでの普通や当たり前が通用しなくなる。」この文章に出会って新しい環境に合わせて日々、変化していくことが重要なのだと気付かされました。ヤゴがトンボになる時、古い呼吸を手放して空を選んだように、私たち人間も変化を恐れずに、新たな一歩を踏み出しているのも良いと思えるようになります。変わったというのは、何かを失うことではなく、新しい自分に出会うチャンスなのです。

「三層亜麻・鴉 パンケーキ」

